

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		スペースが限られているため、パーティションを用いて区画整理を行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	4			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		加湿空気清浄機の使用、適宜換気を行うなど環境に配慮を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		管理者が、今後業務改善を行っていくために必要な知識スキル等を研修を受けてきました。	職員間で面接を行い、業務改善に取り組んでいます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		関係機関との交流の中で評価に関する意見を引き出しています。	内部監査を実施し、業務改善につなげています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		会社全体で発達心理学の専門家などから研修を受ける機会を設けています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		主担当が立案。必要に応じて助言等を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		活動プログラムに関しては基本的には「利用者に見通しと安心感を持っていたため、決まったプログラムを繰り返し実施しながら、徐々に新しいプログラムを入れていく形」とっております。そのため毎回異なるプログラムというわけではありませんが、固定化しないように配慮しております。	プログラムの意図を保護者様にお伝えし、プログラムの理解と協力をお願いいたします。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	4	月曜開室時などを利用し、集団活動を行うなどして適宜組み合わせを工夫しております。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	4	必要なことは支援前後にかかわらず共有しています。	朝礼などを利用し、支援前に再度確認するよう努めます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	必要なこと、緊急を要することは支援終了後に共有を行い、そうでないものは朝礼などの機会を用いて適宜確認しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	4		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	4		
	関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	4	必要に応じて関係機関と情報交換を行っています。	今後も関係機関と連絡を密にし、連携を図っていきます。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	保護者の希望により実施いたします。	関係機関と連絡を密にし、支援内容の共通と相互理解に務める。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	保護者の希望により実施いたします。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		(財)発達支援研修所より助言や研修を受けています。	
保護者への説明責任等	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		交流機械設定は難しいが関係機関の取り組みなどの情報を積極的に収集し、保護者に適宜提供できるよう努めます。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3		高槻市の協議会に参加するように努めます。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		支援後の振り返りで変化をお伝えしています。	保護者様にお伝えする際、具体的にお伝えすることで理解の促進に努めます。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		振り返りの際に家庭状況などをお伺いし適宜支援につながるものを行っています。	
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
保護者への説明責任等	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		振り返りの際などにお話を伺うことが多く、その中でお答えさせていただいております。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	2019年度1回勉強会を含めたパパママカフェを開催いたしました。	同様の企画を行うとともに回数の増加に努めます。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		HP・掲示板の活用で情報発信を行っています。	十分にご家族様に情報が届いていない現状がアンケートから見えてきたため、LINEの利用を含めた速報性の高い情報発信に努めます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			マニュアルの策定職員の周知及び避難訓練は行っております。保護者様にはHP/line/掲示板などを活用し情報発信に努めます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		非常食の常備を含め、月一回、テーマを決めた訓練を行っています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		利用開始時に既往歴などを伺うことで対応を行います。	インフルエンザなどの予防接種の把握はできていないため、振替理事などに確認するように努めます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	現状食べ物を扱う支援を行っていません。	今後食べ物を扱う場合は事前に紙面にて注意喚起を行うなど安全配慮に努めます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		身体拘束に関する研修を行うような場合に行うことができるか職員間で周知しています。	身体拘束が必要な際は事前に保護者と協議し、必要な手続きを得て実施いたします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富田校 保護者等数（児童数）： 回収数：5 割合：71%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1	0	0		今後も個別支援計画等丁寧な説明に努めてまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	1	子どもの程度を見ながら飽きがないように様々な課題を準備して頂いている。	ありがとうございます。活動プログラムに関しては基本的には「利用者に見通しと安心感を持っていただくため、決まったプログラムを繰り返し実施しながら、徐々に新しいプログラムを入れていく形」をとっております。そのため毎回異なるプログラムというわけではありませんが、固定化しないように配慮しております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	5	0		個別療育という形式のため、具体的な交流は難しい。しかし他機関の情報

								収集に努め保護者様に提供いたします。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	0	2		ありがとうございます。⑫⑬⑭と共通する部分となりますが、お子様の状況を毎支援ごとにフィードバックさせていただくことで、我々の気づきをお伝えさせていただいたり、保護者様の状況を教えていただいたりしております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	1	その日の子どもの発言や、課題への取り組み姿勢を細かくフィードバック頂いている	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	0	1		2019年度は保護者会を兼ねた勉強会を開催いたしました。2020年度にも同様の会を計画いたしております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	1	0	2		振り返りなどの時間を通して、取り組みアドの丁寧な説明、相談に対する丁寧な対応に努めます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	2	0	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	0	2		HP/line/掲示板などを活用し情報発信をおこなっています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	0		マニュアルの策定職員の周知及び避難訓練は行っております。保護者様にはHP/line/掲示板などを活用し情報発信に努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	1		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0		

満足度	②	事業所の支援に満足しているか	4	1	0	0		
-----	---	----------------	---	---	---	---	--	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。